【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】令和7年2月18日(2025.2.18)

【公開番号】特開2024-161911(P2024-161911A)
【公開日】令和6年11月20日(2024.11.20)
【年通号数】公開公報(特許)2024-217
【出願番号】特願2024-75513(P2024-75513)
【国際特許分類】
Ｃ１２Ｑ　1/6883(2018.01)
Ｇ０１Ｎ 33/50(2006.01)
Ｇ０１Ｎ 33/68(2006.01)
Ｃ０７Ｋ 16/00(2006.01)
Ａ６１Ｋ 45/00(2006.01)
Ａ６１Ｐ 37/08(2006.01)
Ａ６１Ｐ 17/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１２Ｑ　1/6883　　Ｚ
Ｇ０１Ｎ 33/50　　Ｐ
Ｇ０１Ｎ 33/68
Ｃ０７Ｋ 16/00
Ａ６１Ｋ 45/00
Ａ６１Ｐ 37/08
Ａ６１Ｐ 17/00

【手続補正書】
【提出日】令和7年2月7日(2025.2.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
被験者におけるアトピー性皮膚炎の重症度を検出するために、当該被験者の全顔から採取された皮膚表上脂質について、ＫＬＫ５、Ｃ１ＱＢ、ＤＩＡＰＨ１、ＬＣＥ１Ａ、ＣＴＳＶ、ＣＴＳＺ、ＫＲＴ７２、ＳＰＩＮＫ５、ＫＲＴ２３、ＬＣＥ１Ｂ、ＳＰＲＲ１Ａ、ＰＫＰ１、ＫＲＴ７４、ＡＰＲＴ、ＫＲＴ２５及びＳ１００Ｂからなる１６種の遺伝子群より選択される少なくとも１つの遺伝子のｍＲＮＡの発現量を測定する工程を含む、当該被験者における遺伝子のｍＲＮＡの発現量の測定方法。
【請求項２】
前記遺伝子のｍＲＮＡがＣ１ＱＢ、ＤＩＡＰＨ１、ＬＣＥ１Ａ、ＣＴＳＶ、ＣＴＳＺ、ＫＲＴ７２、ＳＰＩＮＫ５、ＫＲＴ２３及びＫＬＫ５からなる９種の遺伝子群より選択される少なくとも１つの遺伝子のｍＲＮＡである、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記遺伝子のｍＲＮＡがＬＣＥ１Ａ、ＣＴＳＶ、ＫＲＴ７２、ＳＰＩＮＫ５、ＫＲＴ２３、ＫＬＫ５、ＬＣＥ１Ｂ、ＳＰＲＲ１Ａ、ＰＫＰ１、ＫＲＴ７４及びＫＲＴ２５からなる１１種の遺伝子群より選択される少なくとも１つの遺伝子のｍＲＮＡであり、該遺伝子のｍＲＮＡの発現量が低いほど、前記被験者のアトピー性皮膚炎の重症度が高いと検出する、請求項１に記載の方法。

【請求項４】
重症度が異なる２群を判別するための参照値をあらかじめ定めておき、アトピー性皮膚炎患者の遺伝子のｍＲＮＡの発現量が該参照値以上であればより重症度が低い群、該参照値以下であれば重症度が高い群であると判別する、請求項３記載の方法。
【請求項５】
前記遺伝子のｍＲＮＡがＣ１ＱＢ、ＤＩＡＰＨ１、ＣＴＳＺ、ＡＰＲＴ及びＳ１００Ｂからなる５種の遺伝子群より選択される少なくとも１つの遺伝子のｍＲＮＡであり、該遺伝子のｍＲＮＡの発現量が高いほど、前記被験者のアトピー性皮膚炎の重症度が高いと検出する、請求項１に記載の方法。
【請求項６】
重症度が異なる２群を判別するための参照値をあらかじめ定めておき、アトピー性皮膚炎患者の遺伝子のｍＲＮＡの発現量が該参照値以下であればより重症度が低い群、該参照値以上であれば重症度が高い群であると判別する、請求項５記載の方法。
【請求項７】
重症度が症状なし、軽中等度及び重度から選ばれる１以上である、請求項１～６のいずれか１項記載の方法。
【請求項８】
重症度が異なるアトピー性皮膚炎患者由来の標的遺伝子のｍＲＮＡの発現量及び健常人由来の標的遺伝子のｍＲＮＡの発現量の測定値を教師サンプルとして構築した判別式に、被験者における標的遺伝子のｍＲＮＡの発現量の測定値を代入し、被験者におけるアトピー性皮膚炎の重症度を検出する、請求項１に記載の方法。